



## 行ってきました！CANADA研修

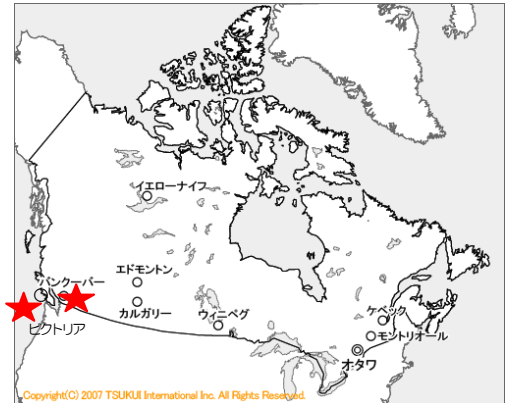


夏季休暇（2008年8月27日～9月2日）を利用して、作業療法学専攻長佐竹教授と4名の学生がカナダの園芸療法を学ぶため、園芸療法士が活躍しているリハビリテーション施設を訪問しました。

**ビクトリア**では、プロビデンスファーム・ブッチャートガーデン・ガバメントハウス、**バンクーバー**では、UBC人類学博物館・スタンレーパークなど見聞を広めてきました。

広大なカナダの道案内と通訳は、佐竹教授の教え子である壁谷夫妻（カナダ在住）に色々とお世話になりました。カナダの歴史や地形についてのお話から、カナダではPT・OTの知名度が高く、近年では肥満者に対するリハビリがとても多いことなど、教えていただきました。本当にありがとうございました。

研修旅行で学んだ経験を、これからの学生生活や将来のセラピストとして生かしてくれることでしょう。



玄関前で

### ◇ プロビデンスファーム ◇

ビクトリアより1時間ほど離れたダンカン市にある施設です。

ひきこもりの若者や重度ではない精神病を持つ人に対して、園芸療法を通じて社会復帰、職業訓練のプログラムを提供しています。

また、施設外の人との交流も盛んで、たくさんのボランティアが活動していて、地域に開かれた施設作りをしています。



花摘みを楽しむ夫婦

ファーム内にある St. Ann's Garden Club では、レイズドベッド（腰の高さのプランター）を使って、身体的に楽な体勢で作業できるように工夫されています。また、脳性まひの利用者に姿勢のバランスを保つため乗馬療法（約20頭の馬を飼育）も取り入れていました。



レイズドベッド



野菜や花の苗で一杯の温室

広大な敷地内には、アート中心のプログラムを行う部屋、木工室、陶芸室、野菜・花の温室などあり、機械類の修理などをする様々な道具など揃っています。また、レタスなどの野菜を作り町の市場へ出荷したり、花の苗を育ててバスケットフラワーを作り、レストランなどに飾ったりしています。



## 大阪河崎リハビリテーション大学

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

□ 言語聴覚学専攻 □ 作業療法学専攻 □ 理学療法学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間158番地 TEL:072-446-6700(代) FAX:072-446-6767

ホームページ <http://www.kawasakigakuen.ac.jp/> Eメール [nyushi@kawasakigakuen.ac.jp](mailto:nyushi@kawasakigakuen.ac.jp)

◇ フッチャートガーデン ◇

セメント生産業を設立したフッチャート氏のジェニー夫人が、荒れた跡地に心を痛め、花を植え始めたのが庭園の始まりです。

今では、日本庭園・イタリア庭園・バラ園・Sunken Garden の4つから成り立つ130エーカーの広大な花の庭になり、年間100万人以上の人が観賞に訪れる名庭園です。

あたり一面に花の香りが満ち溢れ、咲き誇る花の見事さはすばらしく、花壇、ハンギング、石段、建物の窓辺にも花があふれていました。一年中いろんな花で飾られていますが、研修した時期は、ダリア系の花がたくさん咲いていました。ここは、ガーデニングの勉強には、必見の施設でした。

フッチャートガーデンのシンボル看板  
季節の生花の寄せ植えです。



多くの花の手入れが行き届いており、きれいな花たちに囲まれていると時間の流れが違っているように感じたり、植え方のすごさも実感しました。

◇ バンクーバー ◇

海と山に囲まれ、高層ビルが立ち並ぶカナダ西部最大の都市です。世界各国の料理が楽しめ、美味しい料理をいただきました。コップやお皿の大きさもびっくりしましたが、1人分を2人で分けていただいても十分なボリュームにも、驚きました。

また、社会勉強のために、スーパーマーケットへ買い物にも出かけたり、港や博物館見学にも行ってきました。

スタンレーパークから見た中心街



ビクトリアは、街全体が色々な花で彩られていて非常に美しく、ゴミ箱の上にも花が飾ってあり、景観を損なわないように皆で街を大切にしていることが感じられました。



シャチです



◇ フリティッシュコロンビア大学 ◇

広大なキャンパス内には人類学博物館があり、トーテムポールに先住民族の文化や民族意識を学びとることができました。



◇ インナーハーバー ◇

博物館、州議事堂があり、夜のライトアップがとてもきれいでした。また、アウトドアアクティビティが盛んで whale watching を楽しみました。

船上では、オランダからの旅行者と話をしたり、広い海でゆったり泳ぐシャチを真近に見ることができ、感動しました。

州議事堂です



自ら進んで行動することの大切さを、教えていただきました。カナダの道案内と通訳を快く引き受けて下さり、そしてカナダのリハビリテーションの事情についても色々教えていただきました。大変お世話となり、ありがとうございました。



壁谷夫妻

わずか1週間でしたが、個々に感じたことはいっぱいありました。「PTの重要性や役割を知ることができてよかった。」「今回の研修が、色々考えるよいきっかけになったし、自分の甘さが身にしみてわかった。」「園芸(花や草木)が、ここまで人を感動させられることを知った。」また、「今後さらに英会話の勉強に力をいれたい。」などなど多くの収穫がありました。

『カナダの取り組みを視察・体験し園芸療法の知識と理解を深める』という目的は、充分達成できた研修になりました。

学生の皆さん、来年のカナダ研修に参加しませんか? きっと大きな感動に出会えると思います!!

